

会議録

会議の名称	令和6年度第2回朝霞市博物館協議会	
開催日時	令和7年2月28日（金） 午後2時～午後3時15分	
開催場所	朝霞市博物館 講座室	
出席者及び欠席者の職・氏名	委員8名（金子幸男会長・榎本洋二副会長・櫛田直子委員・杉山正司委員・鈴木香織委員・陶山憲裕委員・増山智弘委員・吉岡知子委員） 欠席者2名（利根川仁志委員・原口憲充委員） 事務局5名（奥山生涯学習部長・藤原文化財課長兼博物館長・木内主幹兼課長補佐・高橋主任・平野主任）	
議題	1 会長の選任について 2 副会長の選任について 3 令和6年度事業報告 4 令和7年度事業計画 5 その他	
会議資料	資料1 令和6年度事業報告 資料2 令和7年度事業計画	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法 会長による内容確認		
傍聴者の数	なし	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

（傍聴者確認）傍聴者なしを会長へ報告
（木内主幹兼課長補佐による司会進行、資料の確認）
（各委員・事務局職員自己紹介）

（木内主幹兼課長補佐）

それでは次に正副会長の選出を行います。選出されるまでの間、藤原館長が仮議長を務めさせていただきます。

（藤原課長）

それでは、仮議長を務めさせていただきます。

まず、本日の会議の公開についてですが、本市の「市政の情報提供及び審議会等の会議の公開に関する基準」により、非公開に該当する部分はありませんので本日の会議は公開とし、傍聴要領に基づいて傍聴を許可しています。会議の途中でも傍聴希望者があった場合には、傍聴要領に沿って入場していただきますのでよろしくお願ひします。

それでは、博物館条例第9条に基づき、協議会の会長及び副会長の選出を行います。まず始めに、会長の選出を行います。自薦・他薦を問いませんが、いかがでしょうか。

（吉岡委員）

今回も会長を務めていただきました金子委員を推薦いたします。

（藤原課長）

ただいま、金子委員にお願いしたいとのお話でしたがいかがでしょうか。

（全委員）

異議なし

（藤原課長）

それでは、金子委員に会長をお願いいたします。では、次に副会長の選出をお願いします。こちらにも自薦・他薦問いませんが、いかがでしょうか。

（杉山委員）

長年、委員を務めていらっしゃる榎本委員を御推薦したいと思います。

（藤原課長）

ただいま、副会長に榎本委員をとの意見がありましたが、いかがでしょうか。

（全委員）

異議なし

（藤原課長）

それでは、会長に金子委員、副会長は榎本委員に決まりました。

正副会長が選出されましたので、これで仮議長を下ろさせていただきます。御協力ありがとうございました。

(木内主幹兼課長補佐)

正副会長は、会長、副会長席に御移動をお願いいたします。それでは改めまして、正副会長に一言御挨拶をお願いいたします。

(金子会長・榎本副会長の挨拶)

(木内主幹兼課長補佐による会議開催要件についての確認及び報告)

(金子会長へ議事進行を依頼)

(金子会長)

それでは議事に入らせていただきます前に、協議会の議事録の確認ですが会長の私に一任いただいてよろしいでしょうか。

(全員)

異議なし。

(藤原課長から挨拶)

(金子会長から挨拶)

(金子会長へ議事進行を依頼)

(金子会長)

ありがとうございます。よろしく申し上げます。それでは、これより議事に入らせていただきます。本日の議題は、令和6年度事業報告、令和7年度事業計画、その他となっておりますのでよろしく御審議のほどお願いいたします。それでは、事務局から説明をお願いします。

(藤原課長)

議題3の令和6年度事業報告につきまして文化財課長兼博物館長の藤原より御報告させていただきます。

本日の資料の1(3)令和6年度事業報告という資料がございますので、そちらを御覧ください。

なお内容につきましては、上半期の進捗状況につきまして、第1回の会議の際に報告をしておりますことから簡略ではございますが、お伝えさせていただき、令和7年1月31日時点の事業報告という形で説明させていただきます。

それでは初めに資料の1ページを御覧ください。

令和7年1月末現在での開館日数でございますが、こちらは240日となっております。入館利用者数は2万2784人でございます。

入館利用者数の数え方でございますが、皆様お通りいただきました入り口のカウンターでカウントいたしまして、その数字に出張事業等、学校等に行かせていただいた際に参加していた方の人数を足した合計を入館利用者数として統計の方をとらせていただいております。そのため、常設展示等の参加人数は館入口のカウンターで数えた人数のみとなっております。これは、展示室内にはカウンターを設けておりませんので、入館イコール常設展示を御覧いただいていると解釈しているものでございます。

学校団体につきましては23団体、2379人の方の利用がございました。こちらにつきましては杉山委員の引率で駿河台大学の学生さんに博物館見学実習で御利用いただきましたものも含まれております。

また一般団体につきましては、98 団体、974 人の御利用をいただいております。

続きまして 2 番、令和 6 年度事業報告の欄に移りたいと存じます。

常設展示 1 段目になります。このうち 2 番目 3 番目にあります民俗分野、美術工芸分野につきましては、6 月後半から 9 月 1 日までの期間、展示を実施しております。これはこの会場が企画展示の会場であったり、テーマ展示「県展作品展」等の会場にもなることからそのような形をとらせていただいております。

また企画展示につきましては例年 10 月から 11 月の秋の期間、開催をしておりますが今年度につきましては令和 7 年 3 月 8 日からの春の期間ということで、5 月 6 日まで、年度を越えての形になりますけれども、この期間に開催時期を変えて実施することといたしました。

先ほども資料の説明にございましたが皆様の机の上に本日配付の資料として、第 38 回企画展「根岸古墳群と内間木古墳群」のチラシを置かせていただいておりますので、御覧いただきたいと存じます。

令和 6 年 2 月から 7 月末まで調査をしておりました宮戸地区にございます、人部・峡遺跡、こちらの 19 地点 20 地点から出土いたしました形象埴輪や円筒埴輪を含めました資料を展示する予定でございます。現在開始に向けまして展示準備の大詰めを迎えているところでございます。なお、この展示につきましては、関連事業といたしまして講演会、火おこし、勾玉作りの体験教室を予定しているところでございます。

続きまして 2 ページ目を御覧ください。

一番上の段にございますテーマ展示でございます。

「池田幹雄追悼展」に関しまして、5 月 1 日から 5 月 31 日までの 1 ヶ月間展示を実施いたしました。

令和 4 年 11 月に逝去されました池田幹雄氏でございますが、長年、本市の美術協会の会長として、朝霞市県展作品展におきまして、20 年にわたり展示指導を務めていただいたほか、平成 10 年に開催をいたしました当館の第 3 回の企画展におきましては池田氏の作品 40 点余りを紹介した展示を行うなど、地域の美術振興に多大な尽力をされた方でございます。

なお会期中に、御遺族の方から日本が 13 点、一番大きいもので 200 号を超えるものがございますが、こちら等水彩画 29 点、計 42 点を本市の方に御寄贈いただいております。その好意に対しまして、令和 6 年 5 月 22 日に感謝状贈呈式を開催いたしまして、市長から所有者でございます池田由利氏に感謝状を贈呈させていただいております。

続きまして 2 段目のギャラリー展示でございます。

こちらは写真パネルを中心に展示するもので、昨年度からの継続事業として、4 月 7 日まで行わせていただきましたが、地震の展示して、関東大震災から 100 年を迎えてということで展示の方を実施いたしました。

また 7 月から 9 月につきましては、昨年度に引き続きまして 2 回目となります。前年度に文化財保護係が実施をいたしました市内の発掘調査成果をお知らせする「朝霞発掘調査速報展」を実施いたしました。

さらに令和 7 年の 1 月から 2 月、ちょうど先々週まで行っておりましたが、杉山委員の方にも御協力をいただいておりますギャラリー展示「皇女和宮の下向と朝霞」の展示を実施いたしました。

次に 3 段目の収蔵資料展示でございます。こちらは小学校 3 年生の博物館利用事業にあわせまして、昔の道具を展示いたしました。昨年度から 4 月までの継続展示、それから今年度は 11 月から 2 月初旬までの 2 回展示を実施しております。こちら後述させていただきますが、この展示とあわせまして、博物館利用事業として市内全 10 校の小学校 3 年生の児童が来館をされております。

次に資料紹介展示でございます。こちらはケース一つ程度で勧誘資料の紹介を行う展示でございますが、こちらは昨年度からの継続事業を初め4回実施しております。

それでは続きまして3ページ目を御覧ください。

2段目でございます講座でございます。

例年同様、歴史講座と古文書講座の2講座を実施しております。両講座とも3月に最終回を迎える予定でございます。今年度につきましては歴史講座では朝霞地域の様子を、図を読み解きながら考えるということで、映像を中心とした講座を、また、古文書講座におきましては市内に残る古文書ということで、文書から資料を作りまして、それぞれ講義をいただいております。

続きまして3段目でございます博物館体験教室でございます。こちらは年間7本を実施するもので、最後の7本目、「糸車で糸を紡ごう！」につきましては、3月22日のみで予定しておりましたが応募者が多数おりましたので急遽3月20日の祝日、春分の日、日程を追加して実施することとなっております。

続きまして4ページ目をお開きください。

夏休み体験教室は3本実施をしております。こちらは当館学芸員等が講師となっているものでございます。

また、博物博学連携事業でございますが、先ほど収蔵資料展示の方でも報告いたしました、小学校3年生の博物館利用事業で市内10校全校の児童に御来館をいただくことができました。こちらの博物館利用事業につきましては、郷土学習を始めます市内小学校の3年生を対象に展示室で調べ学習を行いまして、体験学習室、こちらの教室になりますけれども、石臼、縄ない機の体験を行っております。教育指導課と連携をいたしまして、移動バスの借り上げを行っております。

また、小学校1年生の博物館利用事業につきましては、小学校1年生の国語の授業でございます。その中の項目でタヌキの糸車という項目がございます、こちらに伴い博物館の職員が機械等を持ってですね、出張事業を行っております。今年度につきましては10校のうち9校での実施となっております。

次に、学芸員の実習では、8月に5大学から5名の学生の実習を受け入れております。

続きまして5ページでございます。

その他ですが、令和6年度につきましては館内のくん蒸と、それ以外に、博物館の外壁等改修工事を実施いたしました。工事自体は終わっておりまして、残すところは完了検査のみとなっております。おかげさまで、東日本大震災等で痛みましたタイル等の交換、外壁そのタイルが落ちないようにラッピングするような形で外壁のリニューアルを行った状況でございます。

次に利用者アンケートでございます。1月末現在で回答者数は132人。回答率は前年度と同様で0.6%でございます。

また最後、過去5年間の入館者数の推移を別途資料で載せておりますのでそちらも御覧いただければと存じます。

説明は以上でございます。

(金子会長)

何か御質問ございますでしょうか。

(杉山委員)

いくつかの意見と質問があります。まず1ページの方からよろしいでしょうか。

企画展はまだ始まっていませんが、企画展関連講演会は未定となっておりますが、講師の大谷さんをお願いしていると思いますので、内容趣旨っていうのは埋められるのではないかなというふうに思います。あとですね、企画展の関連体験教室火おこしと勾玉今

御説明ありましたが、今日配られたチラシの方には関連事業として講演会だけで、あとギャラリートークしか載っていないのですが、チラシにもやっぱり載せておくべきではなかったかなと思います。

それともう一つ、2ページの方いきまして、ギャラリー展「皇女和宮下向と朝霞」についてちょっと若干協力させていただいて、関連資料も拝見させていただいたのですが、本陣の方の資料膨大にお預かりなされたようです。古文書、あるいは諸家資料、あるいは絵画資料はかなり膨大にありましたが、この事業計画の中になかなか出てきにくいのですけれど、この資料整備って非常に大変だと思います。やはり資料整備を本格的に取り組んでいただいて、こういった展覧会など、あるいは刊行物、それに結びつくような作業を、ぜひしていただきたい。地道で、表だって見えてきませんが、博物館としては非常に大事な事業ですので、ぜひお願いしたいなというふうに思います。

関連して最後のところ、5ページのところ刊行物ですけれど、例年、今年度事業として企画展の図録についていつも載っているのですが、翌年度の7年度のところ見るとちゃんと上がっていますので、おそらく脱落だと思います。こういったところをしっかりと入れておいていただきたいなというふうに思いました。以上です。

(藤原課長)

御意見等ありがとうございます。今、杉山委員の方からいただきました意見を元にチラシで脱落している資料とも注意しながら今後につきましてはきちんと入れ込む形で対応いたしたいと思います。

また御指摘いただきました諸家文書の関係でございますが、調査の方進めておきまして、こちらはおかげさまで博物館の調査という形ではなく、文化財課全体の調査として家屋調査を始めまして、古文書など、総合調査を行わせていただく形で、両係で対応をしております。御指摘の通り、古文書も指定文化財になっているもの以外も膨大にございまして、担当しております文化財保護係で追加等も今後は出てくるだろうというお話もあります。なるべく短期間でできれば良いのですが、予算と人の関係もございまして、しっかり、非常に貴重な文書等々がございまして、資料の整理・調査ということできさせていただければと考えております。

(金子会長)

はい。ありがとうございました。

あと何かございませんでしょうか。資料を調査するについては、職員の数も決まった中で、なかなか大変かと思えますけど一つよろしくお願い致します。

あと何かございませんでしょうか。はい、どうぞ。

(陶山委員)

文化財の方から非常に期待しておりますので、よろしく申し上げます。

企画展の方ですけれど、今回発掘されたものは断片ですけれども、非常に興味深いものだということなので、それをもう少し来た人にアピールできるような、去年ぐらいから埴輪が、東博とかいろいろな所で注目浴びていますので、このチラシの後ろにありますように、本展が意外と身近にある古墳、ひいては文化財に触れる一助となれば幸いですというこの言葉をもっと、実践的にやっていただければ幸いです。以上です。

(藤原課長)

今、陶山委員の方におっしゃっていただいた内容でございますが、チラシでは非常に分かりにくい部分もあるかと思うのですが、根岸古墳群というのは、一夜塚古墳、これは昭和18年に第二小学校の校舎の拡張のために壊してしまった円墳で、そちらから出

土したもの、柊塚古墳、こちらは県の指定遺跡にもなっておりますが、県南部で唯一、墳丘が残っている前方後円墳で、こちらは馬型埴輪や、家型埴輪などが出ております。根岸古墳群については有名ですが、内間木古墳群と呼ばれているものは、これまでも当館では平成 28 年になります。写真を中心としたギャラリー展示を行ったことはありましたが、出ているものが非常に少なかったり、古墳自体が現存している分かるものが少なかったということで、いわゆる幻の地域みたいな形でした。今回、夏場までやっていた発掘の中で形象埴輪、形が円筒ではない、人が何かをしているような状況を表したりしている埴輪が、完全な形ではないのですが、状況は分かるようなものが出てきております。それが、群馬県に近い鴻巣市にある生出塚という埴輪の一大工房になっていたところとの関連も見えてきたということで、本来であれば来年度の速報展で出すべきようなところをいち早くお伝えしようということで、時期をずらして、修復も行いながら今回開催に至ったという状況でございます。委員から御指摘いただきましたように PR をしっかりとさせていただいて、これまで分からなかった部分や、はっきりしなかった部分が形あるものとして御覧いただけるような状況でございますので、そのようなところも力を入れながら、文化財保護係にも必死になって協力していただきましたので、館を上げて取り組みたいと思っております。

(金子会長)

あと何かございませんでしょうか。なければ次に進ませていただいてもよろしいですか。

議題 4 の令和 7 年度事業計画について事務局から説明をお願いいたします。

(藤原課長)

それでは議題 4、令和 7 年度の事業計画について御説明申し上げます。資料の 2 を御覧いただければと存じます。

初めに 1 ページを御覧ください。まず 2 段目の企画展でございます。

企画展につきましては、先ほどもお伝えした通り、第 38 回の企画展は令和 7 年 3 月からゴールデンウィークが終わります 5 月 6 日まで実施となっております。

この他に 11 月から第 39 回企画展の開催を計画しているところです。なお、こちらにタイトル等ありますが、まだ仮称ということで、御了承いただければと存じます。

今回、春と秋に企画展をやるとするのは平成 22 年以降久しぶりになります。以降は年に 1 回の企画展となっておりますが、今回はイレギュラーな形ですけれども、春秋で 2 回企画展がある年になると考えております。

続きましてテーマ展示でございます。こちらは今年度同様 9 月に朝霞市県展作品展の実施を計画しております。こちらは近代美術館で行われます埼玉県展に出品をされた朝霞市関連の出品者の方の作品を展示することを計画しています。ギャラリー展示につきましては、令和 7 年度で 3 回目となりますが、文化財保護係を中心に行う「あさか発掘調査速報展－足元に眠る地域の記憶－」を実施したいと考えております。

また、写真パネルを中心に展示する冬のギャラリー展につきましても、令和 8 年度までの継続展示ということで計画しております。

続きまして、収蔵資料の紹介展示でございます。こちらについては小学校 3 年生の博物館利用事業にあわせて「昔の道具」を実施する予定でございますが、今年度とは若干展示物を変えながら紹介をする予定でございます。

続きまして 2 ページ目でございます。

講座につきましては歴史講座、古文書講座、今年度と同様、年明けに行う予定です。

博物館体験教室につきましては、5 本を計画しております。また夏休み体験教室につ

きましては3本を計画しております。

博学連携事業につきましても、今年度も小学校3年生の博物館利用事業と、出張事業による小学校1年生の博物館利用事業も計画をしているところでございます。

学芸員実習につきましても例年同様8月に7日間実施することを計画しております。

その他につきましてもくん蒸を例年通り6月に臨時休館をしての実施ということで計画をしています。説明は以上でございます。

(金子会長)

この事業計画につきまして、何かございませんでしょうか。

(杉山委員)

第39回企画展の始まりですが、月初めの11月1日、あるいは文化の日である3日などからにしても良いかと思いますがいかがでしょうか。

(藤原課長)

他の事業との関連もございしますが、担当等と調整するよう、検討させていただければと存じます。

(金子会長)

他に何かございませんでしょうか。

(吉岡委員)

利用者統計のところ今年が29年目ということは、来年30周年の節目ですので、何か広報的なアピールとか、予算をかけなくても、何かそういった30周年っていうことを発信すると対外的なアピールにもなるのではないかなというふうに思いますが、いかがでしょうか。

(藤原課長)

周年の関係につきましては30周年以外にも、例えば後2年で朝霞市が市制施行60周年であったり、朝霞に関連する企業さんや事業等の周年表を作成して、いろんなところをPRできればいいかなと考えております。内容については、まだ具体的に詰めている状況ではないのですが、おっしゃっていただいたように財政的に非常に厳しいところがありますので、なるべく経費をかけずに、年間で3万人近くの方来ていただいている施設ですので、皆様に30周年を祝っていただけるような形でPRをして、せっかく館の外側も綺麗になりましたので、訪れていただく機会を設けられるよう検討していければというふうに思っております。

(櫛田委員)

学校との事業は、小学生は多いですけど、中学生との博物館の関連事業などはありませんでしょうか。

(藤原課長)

はい。例年、市内の中学校が職場体験学習を1月の終わりから2月の頭にかけて、3日間行っており、5校あります市内中学校から各校2名から3名の生徒さんの方がお見えになり、学芸員の仕事だったり博物館の中の仕事を手伝っていただいております。ちょうどこの時期に来る小学校3年生の事業にも参加していただいております。

(金子会長)

始めて参加された増山さんの方から何かございませんでしょうか。

(増山委員)

第39回企画展の内容についてお伺いをさせていただきます。

こちらは膝折宿がテーマということで、現在、調査をされている資料から得られた情報を主として展示される方向なのでしょうか。

それとももう既存のところである程度分かっている情報をもとに組み立てていく形なのでしょうか。

(藤原課長)

こちらが仮称となっている状況がございまして、先ほど調査中だというお話もさせていただきますましたが、仮にこちらがそのまま行われる場合には、今当家の展示で使ったり、あるいは、以前からいただいている資料、それから最新の、どこまで実際に調査が進むかというところもあるのですが、少なからず入れられるのかなどに思っております。実際に、今お預かりしてこれから読み解いていく資料の中でも、出せるもの出せないものもあるかと思しますので、担当する学芸員としっかり調整しながら、これから詰めていくような形になるかと思っております。これまで出されているものだけということは、おそらくないというふうには考えております。

(増山委員)

それを踏まえますと、近世の展示で、ある宿を中心にした企画展などは比較的その自治体レベルの博物館では多く行われていると思うのですが、そうするとそういったところを見比べていくとオリジナリティといいますか、企画展の売りっていうものがなかなか出しにくいところが出てくると思うのが、私の見てきた感覚ですけれども、何か例えば、新しい資料で何か興味深いのがあればそれが目玉になりますし、そうでなければ、川越街道の宿場も含めてそうした宿場の企画展のところでは何かオリジナリティが売りになるようなものが出ると、集客に繋がるのかなというふうには思っておりますのでそこを期待させていただきたいと思っております。

(金子会長)

あと何かございませんでしょうか。

(榎本副会長)

丸沼芸術の森との関連で、今までいろいろ収蔵美術品の展示ということで、朝霞にこういう美術があるよということで、かなり多くの来場の方もありまして、割と全国的に朝霞市が知れるような運営状態にはなっていると思うんですね。

また新たなものも入ってきますし、改めて収蔵品を見ていただくというか、いろいろな企画も多分できると思うので、今までとは違った、ただ作品を見せるということじゃなくて、先ほどからのお話に上がっておりますように、調査研究ということでこういう作品、あと時代のこういう流れの中でのこういった形の表現がされるようになったとか、そんなことも踏まえて、丸沼芸術の森に学芸員もおりますので、そういう意味での研究も含めて、博物館と一緒に協力して、また違った方向性の展示ができればなというようなことを、おそらくオーナーの須崎自身も考えておると思っています。

近日は、割と韓国と、レジデンスの若手の作家を呼ぶ、連携滞在して制作したものを発表するというような連携も行っておりますのでね、そういったことが蓄積してくれば、一つの形として博物館の方でも紹介できるかなと、そういう可能性もあるのではないかと考えておりますので、まず収蔵品だけでなく、民間の博物館と関連しながらやっていますよというような、新しい形の企画など、そういうものも作っていただけると思うので、その辺を検討していったらどうかなと考えております。

(金子会長)

丸沼さんは、いろいろな作品をたくさん持っていて、国内の美術館などにもお貸ししているような資料をたくさん持っている。それが朝霞市内にあって、博物館との連携が非常にうまくいっています。統計を見ると令和3年度がぐっと、利用者が伸びてるんですね。

これは、丸沼さんの作品展示をしたとき、電車内のつり広告を出してございまして、それもあり多くの方が利用されたということがあります。

それから、4年5年6年っていうことでだいたい推移は横ばいのようになっておりますけど、この博物館ができたこの場所、地域的なものから見て非常に今年度はもっと利用者が多くなりそうなふうに思われます。

やはり場所としては、駅の近くじゃなくて、遠いところからも大勢の人がこう来てくださる博物館になったということは、やはりあの職員の皆さん初めですね、いろいろとまだまだPRが足りないところ、いろんな面あると思うのですが、人員もなかなか市の方でも増やしてもらってことはできないですけども、少ない予算の中で私が思うには、よくやってくれているのかなというふうに思っています。

今年度、また来年度っていうふうに、例えば博学連携など、最初は少なかったところが、今もう全校にあの広がって行って、バスまでチャーターして、こちらに来るっていうように、これからも一つ職員の皆さんに頑張っていただきたいなと思います。

あと何かございませんでしょうか。なければ次に進ませていただきます。

(金子会長)

議題5のその他について事務局から説明をお願いいたします。

(藤原課長)

(「第6次朝霞市総合計画」について、審議会委員等から意見を収集していることを説明)

(平野主任)

(次回会議と今回会議の議事録の作成について説明)

(金子会長)

(金子会長から、委員の改選に伴い、旧高橋家住宅を委員に実際に見て知って欲しいと提案、事務局で次回会議の際などに見学の実施を検討する旨を回答)

(金子会長)

それでは本日の議題が全て終了いたしましたので、あと事務局の方にお返しします。どうぞよろしくお願い致します。

(木内主幹兼課長補佐)

それでは以上をもちまして令和6年度第2回朝霞市博物館協議会を閉会いたします。

本日はどうもありがとうございました。